

# 第13回狭山台ふるさと祭り



岡村実行委員長の挨拶

7月23日(土)『第13回狭山台ふるさと祭り』が狭山台中央公園野球場で多くの人でにぎわう中、16:00から始まりました。

岡村実行委員長のご挨拶では「前日の会場準備作業は雨に悩まされましたが、本日はお陰様で暑過ぎない天候に恵まれました。」と感謝の気持ちに溢れていました。▼来賓の小谷野狭山市長、衆議院議員、県議会議員から、ふるさと祭り開催の労いや、自治会どうしの絆が強くなり人々の交流が広まり、子供達の心に『ふるさと』を作る取り組みに、敬意と御礼の挨拶がありました。また列席した狭山市市議会議員多数の紹介がありました。

開会式後、やぐら前で狭山台小学校生徒による、「とどけようこの夢を、チャレンジ」の歌を、大変美しい斉唱から始まりました。▼その後、HAPPY CLOVERが音楽に合わせ、活弁で楽しく綺麗なチアダンスをしました。▼そして今年で7年目の出演となる、空手道MACの皆さんが、空手演武、基本、移動、型などを披露しました。▼各自治会や協賛各団体様から多様な出店があり行列ができるくらいの盛況で、参加者が美味しく飲食品を楽しみ、おもちゃを買い求め喜び顔が目立ちました。



ハツラツ！衣装もかわいい♪



元気いっぱいの歌声



気迫！「オッス！！」



「早く食べたいなあ〜」

ふるさと祭りとして初めて設定した『途中休憩』後の18:10から、自治会子供会による5基の子供神輿運びは、綺麗なハッピーをまとい「ワッショイ・ワッショイ」の掛け声とともに、お互いに力を合わせて神輿を担ぎ、会場全体を練り歩く様は、いかにも楽しそうで、ふるさとの思い出作りになったようでした。



練習の成果を発揮した本番の演技！

狭山台2丁目青空子供会の浴衣を羽織った少女が歌う民謡に合わせて、少年が和太鼓を力強くたたき響く音は、まさに体にしみ込むようでした。

スポーツ少年野球団・狭山台キングスの「金魚すくい」を子どもたちが楽しんでいました。スマホなどの仮想ゲームでは無い「金魚すくい」は、思うようにいかない難しさと楽しさを感じたとの声が聞こえました。▼唯一大人の出演イベントであった盆踊りは、やぐらの上で西武狭山台ハイツみんよう同好会員が踊り、やぐらを囲んで沢山の参加者が、何曲もの音頭で楽しく一緒に踊り、『狭山台ふるさと祭り』の夜を盛り上げました。

村上記者



お神輿「ワッショイ！」



「ゲームより難しい?!」



颯爽と踊るみんよう同好会の盆踊り